

事業所名	放課後等デイサービス カムさあ
------	-----------------

公表日 令和 8年 3月 13日

		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		15		・児童一人ひとりの机や椅子など、落ち着いて過ごせる個別スペースが整っている。 ・定員に対して十分な活動スペースがあり、自由に体を動かせる環境がある。 ・興味に応じた遊具や教材を準備している。 ・近隣の公園など屋外で活動できる環境がある。 ・高齢者施設との世代間交流やクッキングなどの活動が行える。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		13	2	・状態の重い児童にも無理なく対応できるよう、人員配置を行っている。 ・送迎時間の違いにより、見守りや関わりを充実させるためには職員数の確保が望まれる。 ・グループホーム職員と声を掛け合い、協力しながら支援を行っている。 ・必要な職員体制を整え、課題や創作活動などの支援に対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		15		・高齢者施設が併設されており、自然に世代間交流ができる環境となっている。 ・排泄の手順を絵で示すなど、子どもに分かりやすい環境づくりを行っている。 ・職員の間が揺きやすいよう死角を少なくし、安全に配慮している。 ・車椅子対応トイレや手すりの設置など、安全面に配慮した設備が整っている。 ・建物の構造が分かりやすく、整理整頓や表示を行い子どもの自立を促している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		15		・毎日清掃や整理整頓を行い、清潔な環境を保っている。 ・子どもたちも掃除に参加し、環境を整える習慣づくりを行っている。 ・来所前に環境整備を行い、安全な環境を整えている。 ・自然光や間接照明を取り入れ、居心地の良い空間づくりを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		14	1	・絵本、遊び、休憩、ピアノなど活動内容に応じてエリア分けを行っている。 ・体調に応じて個室を使用できる環境を整えている。 ・更衣時は男女が同じ空間にならないよう、個室の使用時間を調整している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		14	1	・毎朝の朝礼で情報共有を行い、関わりの少ない職員にも周知している。 ・朝礼や職員間の話し合いを通して、業務改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		14	1	・担当者会議や面談、送迎時のやり取りを通して保護者の意向を把握し、職員間で共有している。 ・保護者からの要望を支援や運営の改善に活かしている。 ・アンケート結果は地域会議やSNS等で公表している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		15		・職員同士が声を掛け合い、話しやすい雰囲気づくりを心がけている。 ・毎日のミーティングや朝礼で気づきや意見を共有し、業務改善に努めている。 ・現場での意思疎通が円滑な体制となっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		14	1	・自己評価結果は職員に周知し、周知を図っている。 ・保護者アンケートや職員の意見を業務改善に活かしている。 ・第三者評価は現在実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		15		・法人研修や外部研修への参加により、職員の資質向上を図っている。 ・職員ポータルサイトで動画研修を配信し、各自のタイミングで学べる環境が整っている。 ・外部研修やオンライン研修に参加できるよう勤務調整を行っている。 ・研修は負担軽減のため、時間の短縮や分断受講が望まれる。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		15		・担当者会議の内容は職員へ周知している。 ・日々のミーティングで意見を出し合い、支援プログラムを作成している。 ・療育内容は5領域に分けて整理し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		15		・関係事業所と連携しながら支援計画を作成している。 ・日々の関わりや保護者との情報交換をもとにアセスメントを行い、計画へ反映している。 ・担当者会議や送迎時に本人や家族の意向を確認し、支援計画に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		15		・気づきや意見を児童発達支援管理責任者へ伝えやすい、風通しの良い職場環境である。 ・日々のミーティングで子どもの様子や課題を共有し、支援計画に反映している。 ・職員同士が話し合いやすい関係づくりを努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		15		・放課後等デイサービス計画は周知等で職員に周知・共有している。 ・子ども一人ひとりの状態に合わせて支援を行っている。 ・担当者会議には多くの職員が参加できるよう工夫している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		15		・日々の行動観察を行い、子どもの様子を職員間で共有している。 ・5領域に基づきアセスメントを行い、特性に応じた療育内容を設定している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		15		・将来の生活や就労を見据え、児童の特性を伸ばす支援内容を設定している。 ・ガイドラインに基づき、一人ひとりの発達に応じた療育支援を行っている。 ・担当者会議や送迎時に保護者の意見を聞き、支援に反映している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		15		・支援内容は個人の判断に頼らないよう、チームで検討している。 ・活動プログラムは子どもと職員で話し合いながら決めていく。 ・一人ひとりの特性に合わせてプログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		15		・屋内外の活動を工夫しながら実施している。 ・子どもたちと話し合い、季節行事などの活動プログラムを決めている。 ・高齢者との関わりを通して、支え合いの経験ができるよう工夫している。 ・児童の発達状況に応じてプログラムを調整している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・年長児がリーダーとなり、年下の子どもと関わりながら協調性を育てている。 ・児童一人ひとりの状況に応じた放課後等デイサービス計画に基づき支援を行っている。 ・個別・集団の活動に応じて環境や活動内容（テーブル配置やクッキング等）を工夫している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日時間割を作成し、それに沿って支援を行っている。 ・支援開始前に職員で打ち合わせを行い、活動内容や役割分担を確認している。 ・カンファレンスや担当者会議には多くの職員が参加できるよう工夫している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・予定通りに進まない場合もチームでフォローし、情報共有している。 ・支援終了後に職員間で振り返りを行っている。 ・朝礼やカンファレンス、LINE等を活用して情報共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や記録により、利用中の児童の様子を保護者や職員間で共有している。 ・児童の成長に合わせて支援内容の見直しや工夫を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性を職員間で共有し、適切に支援の見直しを行っている。 ・定期的にモニタリングを実施し、放課後等デイサービス計画を見直ししている。 ・見直しの際はカンファレンスを行い、職員で意見を出し合っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと役割を確認しながら日々の活動を行っている。 ・基本活動を5領域に分け、療育内容を明確にして支援している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの将来につながる支援を行っている。 ・一人ひとりの状態に合わせて関わりながら療育支援を行っている。 ・児童の興味ややりたい活動が実現できるよう努めている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者や児童発達支援管理責任者が会議に参加している。 ・会議録を提示し、職員が情報共有できるようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりに応じて関係機関と連携しながら療育を行っている。 ・研修会や連携会議に参加できるよう工夫している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて適切に対応している。 ・学校と情報共有を行い、健康状態について保護者とも共有している。 ・送迎時やSNSを通じて連絡調整を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と情報共有を行い、相互理解に努めている。 ・児童一人ひとりに応じて関係機関と連携している。 ・新一年生の利用にあたっては、相談支援事業所等を通じて情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・本人の特性を活かした生活につながるよう情報提供を行っている。 ・体験利用や実習等を通して障害福祉サービス事業所と連携し支援している。 ・支援者ミーティングへの参加や見学同行など、継続的な支援体制づくりに努めている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関と連携し、課題や個別ケースについて助言を受けている。 ・現在対象児童はいないが、必要時には児童発達支援から助言を受ける体制がある。 ・必要に応じて関係機関からの助言や研修に参加できる体制を整えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ事業所内で夏祭りや餅つきなど交流の機会を設けている。 ・季節行事を通して地域の子どもたちとの交流を行っている。 ・公園活動や地域行事など、地域と関わる機会を設けている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会等の会議に積極的に参加し、情報収集を行っている。 ・会議に参加できるよう勤務調整を行っている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話、LINE、連絡帳等を活用し、保護者と情報共有を行っている。 ・面談や送迎時に児童の状況を話し合い、課題を職員間で共有している。 ・担当者会議や各種連絡手段を通じて情報共有できる仕組みがある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談を通じて子育てや就学に関する情報共有を行っている。 ・親子で参加できる行事や茶話会、研修等の案内を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や面談時に利用者負担額や運営規程、支援プログラムについて説明し資料を配布している。 ・書類は見やすいよう配慮し、事業所掲示やSNSで情報を公開している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しく過ごせ、保護者が安心して利用できるよう連携を図っている。 ・放課後等デイサービス計画は、児童や保護者の意向を尊重しアセスメントを基に作成している。 ・児童・保護者の意見を受け止め、児童の最善の利益を優先して支援している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に放課後等デイサービス計画の説明を行い、保護者の同意を得ている。 ・インフォームドコンセントを大切に、計画内容を説明したうえで同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・面談等を適宜行い、相談に対応している。 ・日々の関わりの中で相談があった場合は助言や支援を行っている。 ・必要に応じてサービス提供時間外でも相談に対応している。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や活動を通して保護者同士の交流の機会がある。 ・兄弟関係も含め、家庭での関係づくりを支援している。 ・茶話会や家族参加の行事を開催・案内している。 	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・面談等を通して苦情や相談に対応している。 ・苦情は重要な意見として受け止め、サービス向上に向けた改善に活かしている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の様子を分かりやすく発信している。 ・毎月の活動内容を画面で提示し、HPやLINE等で情報発信している。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱いについて事前に保護者へ説明し、同意を得ている。 ・職員は守秘義務の誓約書を提出し、法人研修等で個人情報保護について学んでいる。 	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱いについて事前に保護者へ説明し、同意を得ている。 ・職員は守秘義務の誓約書を提出し、法人研修等で個人情報保護について学んでいる。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・もちつきや夏祭りなどの行事を通して地域住民との交流を行っている。 ・季節行事を通して地域との関わりを大切にしている。 ・定期的な地域会議で運営状況や事業内容を報告し、意見をいただいている。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施し、緊急時を想定したマニュアルを整備している。 ・各種マニュアルを整備し、職員への周知を行っている。 ・法人内の委員会活動を通して訓練や研修が行われている。 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・児童がパニックにならないよう、落ち着いた対応を心がけている。 ・業務継続計画（BCP）を作成し、非常時の対応力向上に努めている。 ・避難訓練や防犯・災害訓練を定期的に行っている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態や対応方法について職員へ周知・共有している。 ・児童一人ひとりの健康状態を確認し、職員間で共有している。 ・保護者から情報を聞き取り、事業所内で対応できるようマニュアルを作成している。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー情報は職員へ周知・共有している。 ・対象の児童は現在おらず、対応体制は設けていない。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理を徹底し、職員への研修や訓練を実施している。 ・防犯訓練を行い、防犯カメラを設置するなど安全対策を行っている。 	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・家族と迅速に連携できる体制を整えている。 ・面談で家族に説明し、取り組み内容を共有している。 ・担当者会議や送迎時にも必要な情報を説明している。 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例をミーティングで共有し、再発防止に努めている。 ・事故防止委員会が定期的に分析し、事業所へフィードバックして業務改善に活かしている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修を実施し、具体例を参考に職員の意識や行動を確認している。 ・虐待防止委員会を設置し、定期的に研修会を開催している。 	
54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束は行っていない。 ・年1回全職員を対象にアンケートを実施し、委員会を通じて結果をフィードバックし、事業運営に活用している。 		
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束は行っておりません。該当事業もない。 ・すべての場面で代替案を検討し、身体拘束のない運営を徹底している。 		